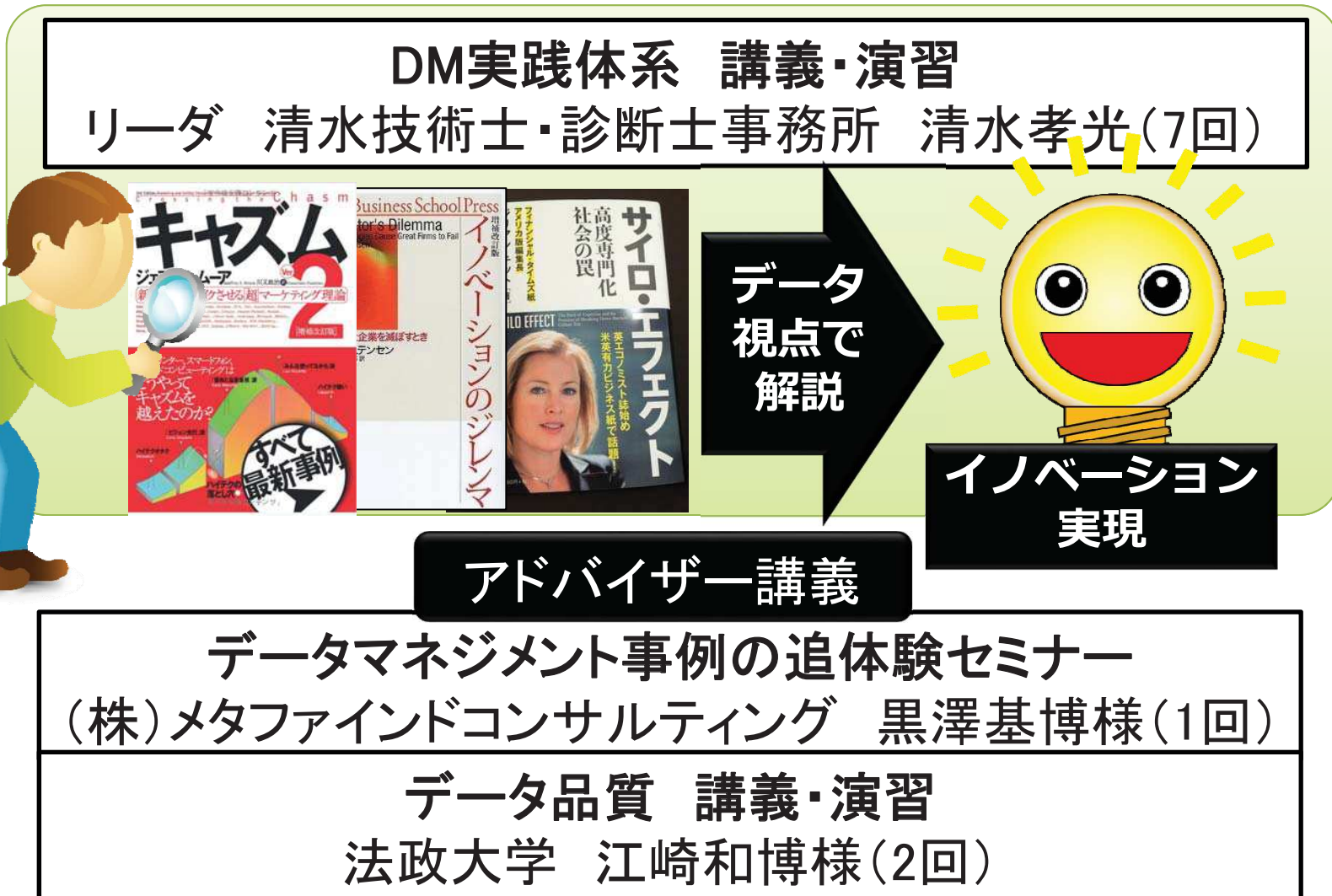


講義・演習実績(2017年度実施内容)



DM実践勉強会では、経営・業務視点のデータ・マネジメント実践のための講義・演習をセミナー形式で行っています。

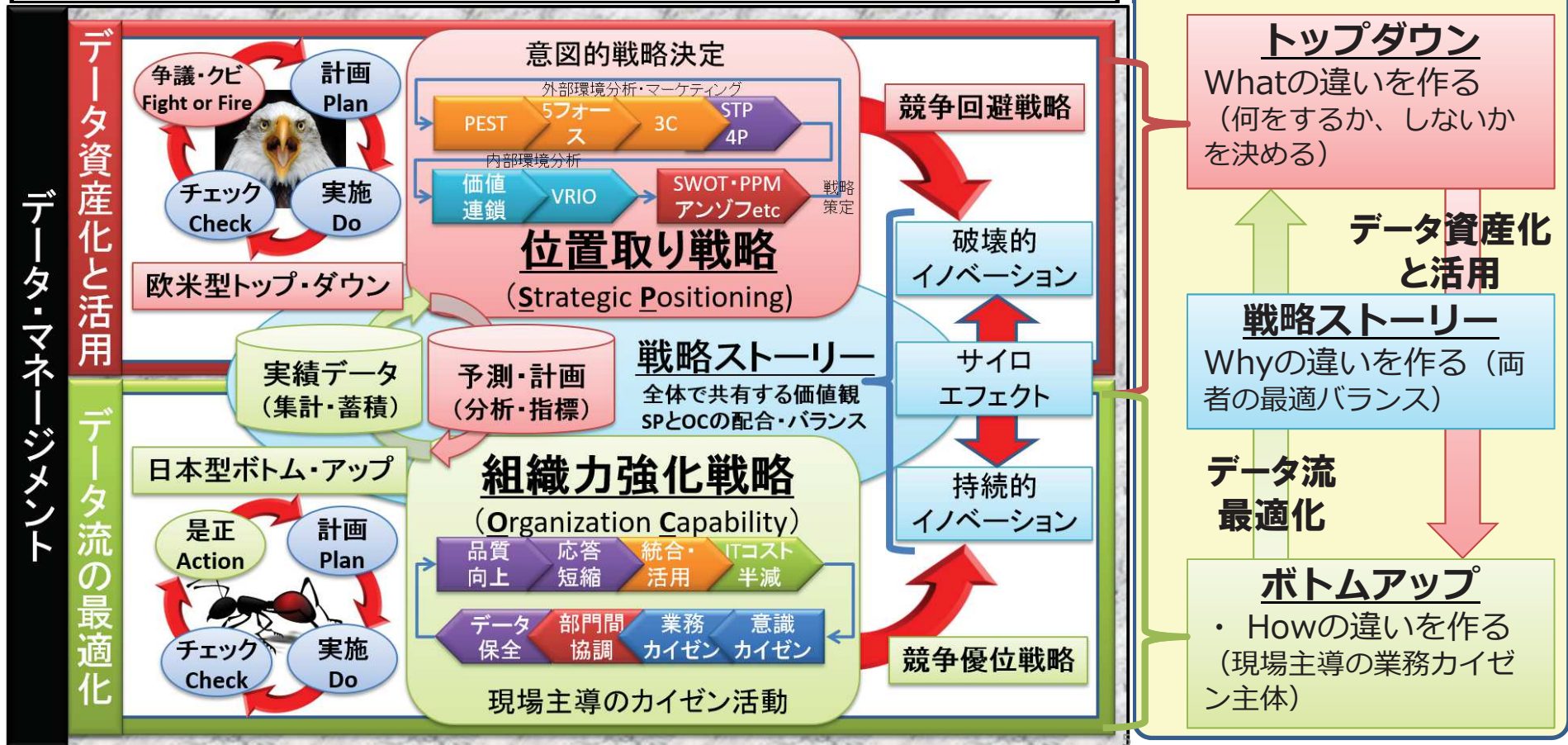
【注】次年度(2018年度)の活動内容については検討中。下表は2017年度の実績



データ・マネージメント実践体系 STBM (Shimizu Triad Business Model)



データは、経営・業務と一体不可分。
データマネージメントは、経営・業務のMust条件



経営戦略・マーケティング理論、現場主導のカイゼン活動、データ要件定義などの様々なノウハウをデータ視点で再構成して統合し、DM実践体系にしています。

データマネージメント意識カイゼン・ワークショップ



経営戦略 マーケティング



データマネージメント 基礎知識と技法



モデリング 業務カイゼン



視点の違い を実感

リソ&ハドソンの「ハーモニクス」
問題発生時の3つの対応スタイル
～エニアグラムの鈍角三角形～ 解決的反応、反射的反応、肯定的反応

ハーモニクスの3分類をエニアグラムに当てはめると、それぞれType3,6,9を頂角形になる。

エニアグラムの専門家、リソ&ハドソンによれば、問題が生じた時に、人はその解決策としてとる心理的反応や行動の仕方がエニアグラムの上で3つの型に分類されるとしている。

解決的反応 Type3,5,1
問題やトラブルに対して合理的な解決策を模索し、楽観的になり原因を論理的・合理的的手段によって冷静に解決しようとする。

反射的反応 Type6,4,8
問題やトラブルに対して感情的に反応する。肯定的・解決的タイプに比べて問題に対する重要性を認識する気持ちが強く出る。

肯定的反応 Type9,2,7
問題やトラブルに対して前向きな心理パターンをとる。問題の原因究明や合理的な解決を行うよりは、建設的で前向きな思考でそのトラブルを乗り越えようとする。

意識カイゼン を体感

自分の背骨を、左右にねじる(最大限)
しっかりと背骨がねじれているか観察する
ねじる方法を提案する(含:理由)

少し狭くして立つ
ルタン星人

しながら
に背骨をひねる

そのまま
呼吸ホールド

吐きながら
ユックリ正面に戻る

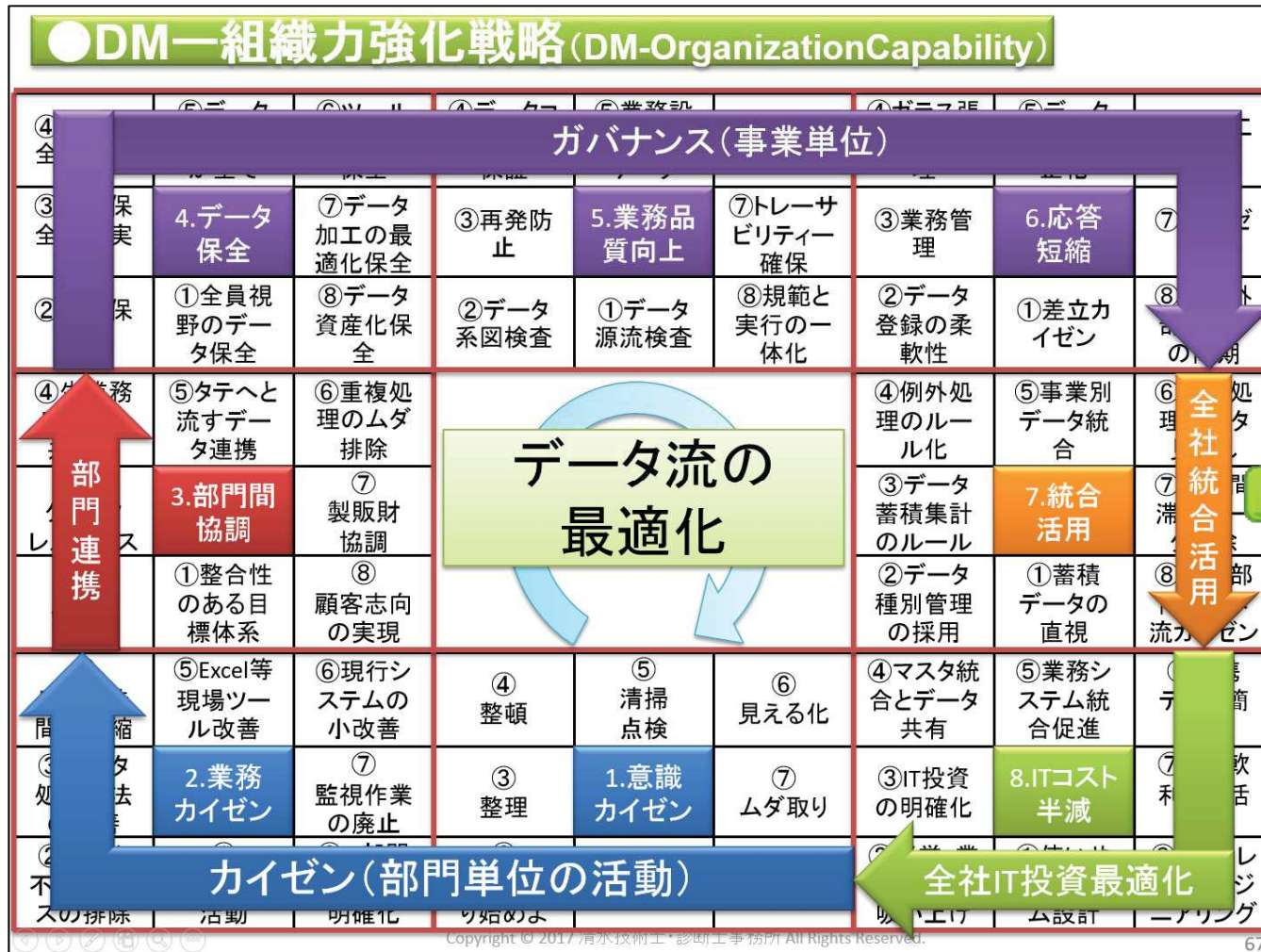
同じように、反対側
ユックリ左にねじって正面に戻る

注)2人ペアになって、正面に向き合い、交互に行う。

次年度（2018年度）活動構想



次年度活動計画は、5月総会で公表します。
 現在、現場主導のデータマネジメントの講義・演習に加えて、イノベーションをテーマにした、研究活動や合宿を検討しています。



データ視点で
読み解く
イノベーション

合宿

研究活動